（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　千手

目標達成計画書

作成日：　平成　　23年　03月　01日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員の均一化した介護技術の開発	職員が向上心を持って働ける環境づくりと、職員の特技や人柄を活かした役割分担や、外部研修を習熟度や経験年数に合わせて参加して、ケア質の向上を目指す。	職員の適材適所の配置。技術の高い職員による指導や相談を実施し、職員全員のレベルアップを目指していく。	12ヶ月
2		家族会の充実・ボランティアの受け入れ、育成	利用者の重度化に向けて、ご家族の理解と協力は不可欠であり、家族会の充実と、ボランティアを組織化し、きめ細かな介護サービスを実践していく。	家族会に協力をお願いし、ボランティアを育成「して欲しいこと」「してはいけないこと」を明示し、質の高いボランティアグループを組織して、介護サービスの充実を図っていく。	12ヶ月
3					
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。